

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：  
担当課長名：

事業名	たかた 一般国道340号 高田バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	岩手県
起終点	りくぜんたかた けせんちようどてかけ 自；岩手県陸前高田市気仙町土手影 りくぜんたかた たけこまちょうとうかいちば 至；岩手県陸前高田市竹駒町十日市場			延長	3.6km	
事業概要	一般国道340号は、岩手県陸前高田市を起点とし、青森県八戸市に至る延長約255kmの幹線道路である。高田バイパスは幅員狭小、線形不良を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長3.6kmの2車線道路である。					
H3年度事業化	H3年度都市計画決定	H4年度用地着手	H4年度工事着手			
全体事業費	46億円	事業進捗率	88%	供用済延長	1.78km	
計画交通量	5300台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.7 (残事業) 17.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 8/61億円 事業費：5/56億円 維持管理費：2/5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 131/165億円 走行時間短縮便益：125/152億円 走行費用減少便益：5/12億円 交通事故減少便益：0/2億円	基準年 平成17年		
感度分析の結果	交通量変動 B/C=18.7 (交通量+10%) B/C=15.2 (交通量-10%) (残事業を対象) 事業費変動 B/C=16.4 (事業費+10%) B/C=18.7 (事業費-10%)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（バス路線の利便性向上）・都市の再生（奈々切土地地区画整理事業と整合）</li> <li>他のプロジェクトとの関係（三陸縦貫自動車道高田ICへのアクセス向上） 他6項目に該当</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	一般国道340号高田バイパスは、三陸縦貫自動車道と連携し物流支援、地域間交流、観光地へのアクセス向上等の重要な役割を果たすものと期待されており、国道340号整備促進期生同盟会より要望（平成17年10月26日）がなされている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>一体的な整備を図った奈々切土地改良事業（高田地区）の進捗は約7割（事業費ベース）となっている。</li> <li>高田松原の周辺環境整備は古川沼浄化、マリーナ・野外活動センター等の整備が完了している。</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	高田工区の延長1,78kmについては、平成11年度までに供用済みである。残る竹駒工区についても平成17年度に用地取得を完了しており、改良工事と関連する市道付替工事（市受託工事）との調整を図りながら事業を進める予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	市道付替部が現国道と重複し交通の切替えの時期等の調整が必要であり、これまで本線改良工及び市道橋梁工事等を重点的進めてきた。今後本線部の改良工、舗装工を実施し平成20年度に全線供用開始を予定している。					
施設の構造や工法の変更等	土工事が主体なことから大幅なコスト縮減の可能性は少ないが、小構造物（排水施設等）の一体化及び再生材の利用などコスト縮減に努めている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。